

ニッキン投信情報の連載『黄金時代到来！？なるほどインド講座』の第13弾が公開されました！

ニッキン投信情報（2025年6月9日号）にて、弊社取締役 営業マーケティング本部長の面谷 祥友による連載『黄金時代到来！？なるほどインド講座』の最新記事が公開されました。
第13回目となる本紙では“ルピーとともに歩むインド - 紙幣、政策、そして未来 - ”をテーマとして寄稿させて頂きました。

ニッキン投信情報 2025年6月9日発行 第1367号 (1)

ニッキン投信情報

発行所 日本金融通信社 © 2025 〒102-8877 東京都千代田区九段南4-3-15 電話 03(3261)9971
週刊(毎週月曜日発行) 購読料1ヵ年165,000円(税込)

CONTENTS

09 **NISA口座数と残高(2025年3月末)**
NISA口座数は24年12月末比6万口座増の474万口座
全国の憲法金融機関を対象に、2025年3月末の少額投資非課税制度(NISA)の口座数、同口座の預かり資産残高等をアンケート調査した。口座数は302機関合計で474万1,024口座となり、24年12月末比で6万1,387口座増加(+1.3%)した。業種別のNISA口座トップは、地銀は福岡銀で20万3,701口座、第二地銀は北洋銀で8万4,950口座、信金は京都中央信金で4万2,650口座だった。

業種	金融機関名	口座数
地銀	福岡	203,701
第二地銀	北洋	84,950
信金	京都中央	42,650
信託	近畿産業	4,755
信託	中央	34,762
信託	神奈川	32,647
信託	九州 F.G.	119,234

03 **トランプ政策に思うこと**
04 **離陸した個人の資産形成の現状・課題・展望(下)**
～資産形成期に比べセオリー未整備の資産取崩期を考える～
大和アセットマネジメント 資産運用普及センター長 長野吉納

06 **浜松いわた信用金庫 ソリューション支援部 山本裕加さん**
顧客ごとに運用計画を設定
74 **ファンド列傳 読者報告**
広がるトクアップ体制 専門性と提案力向上へ

08 **TEBアセットマネジメント(トルコ) オラル・ヤギズ氏**
トルコ経済は中長期的に安定して成長

27 **NISA売れ筋ファンド(2025年1～3月)**
地銀成長投資枠1位は「AB米国成長株投資B」
72 **銀行の新規取扱ファンド(2025年4月)**
26行が延べ51ファンドを新たに採用

80 **新規事業・設定ファンド SBI「SBI日本株3.8倍AⅢ」など4本**
81 **販売会社情報** 千葉興業銀、池田泉州銀、肥後銀、静岡中央銀、西尾信金
83 **運用会社情報** フランクリン、明治安田

84 **黄金時代到来！？なるほどインド講座(第13回)**
ルピーとともに歩むインド - 紙幣、政策、そして未来 -
イーストスプリング・インベストメンツ 取締役 営業マーケティング本部長 面谷祥友

85 **オランダの年金運用と制度(第11回)**
オランダ年金基金の資産運用(3) ESGとグリーン投資
ヘルステクノロジーラボ 代表取締役社長 佐々木一成

86 **＝新連載＝ 企業を強くする金融教育経営塾(第1回)**
中小企業に求められる「金融教育経営」とは？
金融教育ホワイト企業機構 代表理事 星野泰平

87 **シン・温故知新のつみたて投資(第87回)** たまには投資指標を見ましょう
日本つみたて投資協会 代表理事 太田 創

「ニッキン投信情報 別冊 金融機関別 取扱ファンドの騰落率一覧」は、下記URLまたはQRコードからデータを取得できます。 <https://www.nikken.co.jp/toushin/touraku.html>

NIKKIN INVESTMENT TRUST NEWS

第13弾

本連載記事については
2ページ目をご覧ください

<当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

連載



インドの紙幣には、すべて「インド独立の父」として知られるマハトマ・ガンジーの肖像が描かれています。また、インド紙幣は「多様性」という言葉で語られることの多いインドを象徴する存在でもあります。裏面には、ヒンディー語と英語に加え、各州の主要言語が15種類も併記されており、ルピーという共通通貨のもとで文化や言語の多様性も併存していることを物語っています。

高額紙幣廃止がもたらした混乱と進化

2016年11月、モディ政権は突如、500ルピーと1,000ルピー紙幣の廃止を発表しました。汚職や偽札対策が目的でしたが、銀行には両替のための長蛇の列ができ、中小企業や農村部では経済活動が一時停止するなど、全国的な混乱を招きました。しかし、この混乱の中から、思わぬ変化も生まれました。電子決済の急速な普及です。現金不足を背景に、多くの人々がスマートフォンによるキャッシュレス決済を利用し始めたのです。特に政府とインド準備銀行（RBI）が推進する即時決済プラットフォーム「UPI」は都市部のみならず、農村部や遠隔地にも広がり、公共料金の支払いや日常の買い物で広く使われています。インド人の同僚に言わせると「誰も財布を持ち歩いていない」というほど電子決済が普及しています。高額紙幣廃止は、社会に大きな痛みをもたらした一方で、キャッシュレス社会を加速させる契機ともなったのです。

為替制度と中央銀行の役割

ルピーは、ドルに固定するドル・ベッグ制を採らず、市場の需給に応じて為替レートが変動します。ただし、必要に応じてRBIが為替介入する仕組みです。過去最高水準に積みあがっている外貨準備高も、為替安定の重要なカギとなっています。RBIは潤沢な外貨準備を背景に積

極的に為替介入を行っているため、ルピーは米ドルに対して安定した動きを保っています。

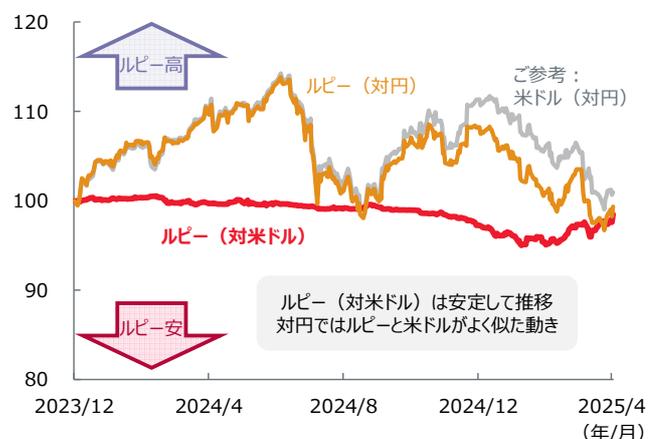
ラジャン総裁がもたらした変化

インドの金融政策に大きな転換点をもたらしたのが、13年から16年までRBI総裁を務めたラグラム・ラジャン氏です。ラジャン氏は、インフレ抑制を最優先課題とし、「インフレーターゲット」を導入しました。RBIは4%（±2%）のインフレ率を目標に政策金利を調整しています。米FRBのインフレ目標2%との差を勘案すれば、ルピーが年2%程度米ドルに対して下落するのは「巡航速度」とも言える自然な現象です。「ルピー過去最安値」といったニュースの見出しに過剰反応する必要はなく、インフレと経済成長のバランスを考えれば、為替の緩やかな下落は健全な動きとも捉えられます。

投資家にとってのインド市場

インド市場は人口増加、都市化の進展、爆発的な消費拡大など、長期的な成長要因に支えられています。為替リスクには注視が必要ですが、多少のルピー安を想定しても、インドの株式や債券はそれを相殺して十分に高いリターンが期待できる投資対象です。紙幣に刻まれたガンジーの肖像と多言語の表記が象徴するように、インド投資もまた、多様性と統一、変化と成長が交錯するダイナミックな舞台といえるでしょう。（執筆：イーストスプリング・インベストメンツ 取締役 営業マーケティング本部長 面谷祥友）

図表 ルピー（対米ドル、対円）の推移



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※2023年12月末を100として指数化

本稿は執筆時点での情報に基づく筆者の個人的な見解であり、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の公式見解ではありません。